

# 第1回ジオパーク下仁田協議会学術部会次第（報告）

日時 令和8年6月12日（金） 午後6時00分

場所 下仁田町自然史館

所 属	氏名	出・欠		所 属	氏名	出・欠
群馬県立自然史博物館	高栗 祐司	出		下仁田町教育委員会	里見 立夫	欠
下仁田自然学校	中井 均	出		下仁田町自然史館	中村 由克	出
下仁田町歴史館	山田 誠司	出		ジオパーク下仁田協議会(事務局)	神戸 進一	出
中小坂鉄山研究会	原田 喬	欠		ジオパーク下仁田協議会(事務局)	関谷 友彦	出
群馬大学名誉教授	吉川 和男	出		ジオパーク下仁田協議会(地域おこし協力隊)	吉朝 開	出
下仁田ジオパークの会	大河原順次郎	出				

## 1 開 会（事務局 神戸）

## 2 部会長挨拶（高栗 部会長）

学術奨励金事業の推薦についてよい協議の上、採択推薦したいと思う。

## 3 報 告

### 1) 日本ジオパーク再認定審査結果について（事務局 関谷）

審査結果通知書を元に、学術部会として今後検討すべき事項について説明した。

（Q.部会員）保全計画について、何のための保全か考える必要がある。保全とともに活用をしていかなければいけない。そのバランスを考えなければいけない。

（A.事務局）現状ではモニタリングが主である。現在行っている記録は、目的が曖昧であるため、今後の活用等を含めて検討していく。

## 4 協議事項

### 1) 令和8年度学術奨励金事業の採択推薦について

今年度あった4件の申請について、当ジオパークにとっての研究成果の発展性を踏まえて議論し、別紙のとおり2件の研究について町へ推薦を行うことにした。

### 2) アクションプラン（2027-2030）について

（関谷 事務局）アクションプランについて説明

（Q. 部会員）次のアクションプランの初年度はいつか。

（A. 事務局）2027年度からのアクションプランになる。

（Q. 部会員）次期計画にKPIが入るとしても、今期のアクションプランの達成状況を示す必要があるのではないか。

（Q. 部会員）数値を入れた達成状況が必要だろう

（A. 事務局）今後作成する。

（Q. 部会員）達成状況を示すのは部会員全員とするのか、事務局で行うのか。

（A. 事務局）事務局で下案を作成したのち、部会員の皆様に確認していただく。

（Q. 部会員）具体的な数値を秋ごろを目安に示すのがいいのではないかと？

## 5 その他

（事務局）

- ・3月におこなった学術奨励金成果報告会について報告  
50人程が参加した。オンラインでも視聴できる環境を整えた。
- ・ジオパークマガジンの配布について
- ・下仁田町自然史館研究報告について

## 6 次回の部会開催について

（事務局）アクションプランの改定についての議論のため、秋ごろの開催を予定している。